

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
教育実習 Practical Teaching at Kindergarten		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	後期(集中)
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実習	4	選択	子安 崇夫・田中 奏子・縄田 也千	
概要				
<p>教育実習は、幼稚園教諭として幼稚園の現場で実際に勤務できるようにするための様々な力を実践的に身につけるためのものである。幼稚園教諭としての資質・能力について反省洞察しながら、それをより一層高めていけるように幼稚園の現場において実習を行う。</p>				
到達目標				
<p>(1) 幼稚園教諭としての責務を自覚し、自分の修得した理論や知識を実践できる。  (2) 実習日誌の書式に従い、実習日誌を書くことができる。  (3) 実習の事後指導を通して、今後の課題を明確にすることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 教育理論と教育実践の統合  2 幼児の発達・心理と園生活の実態の把握  3 保育内容の研究と実践  4 生活指導、園経営、心の教育の研究と実践  5 園務分掌、園事務、保護者会、地域社会の研究と実践  6 教職としての自覚</p> <p>※実習時期  本実習 2年次10月に行い4週間の期間とする。  学校体験活動 1年次8月～9月に行い5日間の期間とする</p> <p>※実習先  各自が希望する幼稚園に依頼する。(依頼についての説明は、前年の11月～12月に行う)</p> <p>※その他  実習前に各園でオリエンテーションが行われるので必ず訪問すること。</p>				
テキストおよび 参 考 文 献	「教育実習の手引き」山口短期大学			
メ ッ セ ー ジ な ど	幼稚園教諭二種免許：必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 幼稚園教諭としての責務を自覚し、自分の修得した理論や知識を実践できる。	幼稚園教諭としての自覚をしっかりと持ち、習得した理論や知識を正しく実践できる。	幼稚園教諭として自覚を持ち、習得した理論や知識を大きな間違いがなく実践できる。	幼稚園教諭としてさらに自覚が必要だが、習得した理論や知識を最低限実践できる。	幼稚園教諭としての適性が見られない。	教育実習先からの評価 (知識・理解・意欲・関心・態度)	70%
(2) 実習日誌の書式に従い、実習日誌を書くことができる。	用語の使用や表現の誤りがなく、詳しく丁寧に書いており、他の学生の模範となる。	用語の使用や表現の誤り、誤字、脱字がほぼなく、丁寧に書いている。	用語の使用や表現の誤り、誤字、脱字がいくつかみられるが、必要な箇所の記述はある。	用語の使用や不適切な表現があり、内容が読み取れない。	実習日誌 (知識・理解)	20%
(3) 実習の事後指導を通して、今後の課題を明確にすることができる。	教育実習に関する実習先からの評価や自己評価をもとに、自分で今後の課題を見出し、レポートにまとめることができる。	施設実習に関する実習先からの評価や自己評価をもとに、ほぼ一人で今後の課題を見出し、レポートにまとめることができる。	今後の課題を見出すために、他者のアドバイスをもらえば、レポートにまとめることができる。	自分の今後の課題が見いだせず、レポートが提出されない。	課題レポート (思考力・判断力・表現力)	10%